

深海 愛
Ai Fukami

改ベラ
Bella Kai

麗娜
Reina

サチー
Sacie

中北芽衣
May Nakakita

江波未有
Myu Enami

ダンスカンパニーディニオス

2025 年秋季特別公演

11月14日 pm 2:00 7:00

京都府立文化芸術会館

チケット 前売¥4500 当日¥5000

全席指定

上演作品 No.1

「Persona・ペルソナ」 振付：渡辺タカシ

音楽：A. シュニトケ・ピアノと弦楽オーケストラのための協奏曲
(ペルソナ：人、人格、仮面等の意)

上演作品 No.2

「Guernica・ゲルニカは遠く」

1937 年、スペイン内戦中、バスク地方の村ゲルニカはドイツ空軍によって無差別爆撃を受け多くの犠牲者を出した。殺戮と破壊。ピカソは悲慘な戦争のあり様、傷つき苦しみ逃げまどう人々や動物の姿をキャンパスに記した。縦 3.5m、横 7.8m の大作「ゲルニカ」である。美術史に長く記憶される反戦絵画の傑作である。



振付：渡辺タカシ

音楽：M. デヴィス & M. ミラー

始まりは 20 世紀後半、颯爽と登場したジャズダンスであった。バレエとモダンダンス・現代舞踊に収斂されていたダンス界に新風を吹き込む勢いでジャズダンスは広がっていく。スタジオを開設したばかりの渡辺には恩寵とも言うべき追い風となった。多くの人が群れた。女性が圧倒的に多かったが、元気のいい男子もレッスンに励む。全国的に広がりを見せて、ジャズダンスは時代の寵児になった。

渡辺タカシ。信州に生れ、伊豆地方での中高生時代を経て同志社大に進学、法学部に在籍したが、入学当時から舞台活動を始めることとなった。理由の詳細は不明だが、体内の深部に隠蔽されていたデーモンが出てきたと笑う。卒後、アメリカマサチューセッツ州・ボストン音楽院ダンス dept. に留学、アン・ブローズ、ボブ・ギルマン、レナータに師事。さらに、ニューヨークにてレイジ、ビル・ウィルソン等に師事した。1969 年に帰国、京都に拠点・ステージジャズセンターを創設する。ジャズダンス、ジャズバレエの専門スタジオである。時代の流れに乗せられるように、渡辺はダンスコンサート、オペラ公演、各種ショーなど数多くのステージの演出・振付に多忙を極めた。ダンス協会を設立して斯界の発展に寄与すると同時に、後進の指導養成に注力、多くの舞踊関係者を育てた。

1990 年、渡辺は自身の舞踊団ダンスカンパニーディニオスを結成する。渡辺ステージジャズセンター (SJC) で訓練を受けた生え抜きの若いダンサー、ダンサーの卵たちが結集した。間断なく容赦ないハードな訓練であった。ジャズ、バレエが若い身体を捉え浸透する。タフな精神力もまた同時に培われる。結成以来、国内はもとより海外 (中国、インド、USA、フランス、ドイツ、カナダ、モナコ、インドネシア、ニュージーランド) での公演活動が続けた。上演作品の題材は多様である。渡辺の狙う振付のモチーフは和、洋を問わず、時代を問わず、フィクション・ノンフィクションに拘泥しない。究極は、美と普遍的な愛だけ、と明言する。カンパニー全員の指針である。

ジャズダンスに始まったが、現在、はるかに大きいダンスエリアで創作する。

主催 渡辺ステージジャズセンター・TAD PRO INC.
京都市右京区山ノ内宮脇町 15-7 B1F
call 075.406.5903 /